

重誓寺報

第38号 平成29年4月発行

浄土真宗 本願寺派 (西本願寺) 重誓寺
じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2丁目4番19号
電話・FAX 06(6951)0090



西本願寺でお勤めされています伝灯奉告法要に団体参拝させていただきました。これは宗祖・親鸞聖人があきらかにされた「浄土真宗のみ教え」が、聖人から数えて第二十五代となる専如ご門主に伝えられたことを、仏祖の御前に告げられるとともに、お念仏のみ教えが広く伝わることを願いお勤めされる法要です。

法要は雅楽などを交えた荘厳なお勤めや、ご門主一家のご紹介など、普段では見ることの出来ない有り難いひとときでした。

この法要に併せて、本願寺の正面にあります龍谷ミュージアムでは「浄土真宗と本願寺の名宝Ⅱ」と題して歴代門主様や浄土真宗にまつわる貴重な法物などが特別展示され、重誓寺からも第九代実如上人から下付された阿弥陀如来画像が展示されています。



また現在、重誓寺では親鸞聖人絵伝を、本願寺前の宇佐美松鶴堂様に修理しております。そこで、本願寺に参拝されるならと、特別に修理の見学をさせて頂き、建物の屋上から本願寺や京都市内を望ませて下さいました。

本願寺の伝灯奉告法要は、今年五月三十一日まで数期に分けて厳修されます。一般参拝も可能ですのでお問い合わせ下さい。

また龍谷ミュージアム特別展は六月十一日まで開催されています。是非この機会に京都まで足をお運び下さい。

法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

椅子席でお参りいただけます。

常例法座

四月二十日(木) 二時、七時

講師 藤岡 良治 師

親鸞聖人降誕会法要

五月二十日(土) 二時、七時

講師 高澤 正文 師

常例法座

六月二十日(火) 二時、七時

講師 平戸 昭乗 師

七月二十日(木) 二時、七時

講師 不死川 浄 師



心に残った法話のお言葉

私たちの言葉はいつも裏腹です。それを見抜き、私の口から出るお念仏となつて支えて下さる仏様。そのことを慶ばれた親鸞聖人を追体験するのが報恩講です。

(十一月 義本弘導師)

人は命のある限り尊いものです。あなたしか生きることのできない大切な命を頂いているのです。そのあなたを必ず浄土に迎えとり、仏として下さるのが阿弥陀様です。

(十二月 中西昌弘師)

一人では寂しいものです。いつでも、どこでもあなたの側に居るとおっしゃったのが念仏です。そしてまた会える世界を作つて下さったのが浄土なのです。そのことが俱会一処というお言葉です。

(一月 足利孝之師)

私たちは明日どころか、今も分からない中で、あれこれを望み、足下をも見えない生活を知っています。阿弥陀様にかけているご苦労を知り、至難なことなのです。

(二月 巖水法乗師)

安楽土あんらくどにいたるひと

五濁悪世ごじよくあくせにかへりては

釈迦牟尼仏しやかむにぶつのごとくにて

利益衆生りやくしゆじようはきはもなし

(浄土和讃 二〇)

阿弥陀如来の浄土に往生した人は、仏と成つて迷いのこの世界に還つてこられ、釈迦如来が多くの人々を導かれたように、私たちを浄土へ導いてくださる。

弔電などでよく聞く言葉に「ご冥福を祈ります」や「安らかに眠り下さい」などがあります。でもその意味を考えると安易に使つてはいけない言葉であることに気づかされます。

「冥福」とは、死後が暗くて、不安な世界なので、せめて幸福を祈っていますとい

う意味なのです。

また亡くなった方には「安らかに、ゆっくりお過ごし下さい」との気持ちですが、阿弥陀様の働きで、浄土に救われ、仏とされる訳ですから、今度は私たちを浄土へと導く働きをされているのです。

普段、忘れがちな私たちが、亡き方をご縁として仏様に合掌しお念仏する姿こそ、既にその願いが届いている証ではないでしょうか。

仏説阿弥陀経に「俱会一処」という言葉があります。「ともに一つのところで会う」という意味で、お墓に彫られることもありす。

でも私たちは「死んで墓の下に眠る」のではなくありません。お墓というのはお骨を納め、亡き方を偲びつつ、仏縁にあわせていただく大切な場所です。このご縁を大切に、阿弥陀様や先立たれたから願われていることへ、感謝の生活を送りたいものです。

重誓寺合葬墓の御案内

この度、重誓寺墓地の一角に合葬墓を
建立いたしました。
浄土真宗のご門徒で、重誓寺とご縁の
あった方ならどなたでも納骨していただ
けます。

◎お墓を建てるつもりのない方

◎将来、お墓を守って

行く者がいない方

◎お墓はあるが、遠くて

なかなかお参り出来ない方

その他、改葬、分骨、墓終いなど

詳しい事は、お気軽にお尋ね下さい。



阪急百貨店で行われました、盲導犬啓発の
チャリティーイベントに参加させていただきました。

訓練所の方によるデモンストレーションも
あり、多くの方に知って頂く機会になり、皆
様の心温まるご協力を頂きました。



まだ盲導犬ではないパピー（子犬）にとっ
ては、本来入れない所ですが、お陰で多くの方と
触れ合うことが出来、この子にとっても有意義
な体験であったと思います。

重誓寺 HP <http://juseiji.net> E-mail info@juseiji.net

寺報はバックナンバーを含め、ホームページでご覧いただけます。

ご意見、ご質問等がありましたら、メールでもお寄せ下さい。